

令和7年 木曽地域 県政おもなできごと

令和7年中の木曽地域における『県政おもなできごと』を、次のとおり取りまとめました。

【通年】

☆木曽路観光・物産展 in 中日ビル

名古屋市中日ビルにて、木曽路の魅力を発信するイベントを7月及び10月に開催しました。各回では観光情報や特産品を紹介し、多くの来場者に木曽路の自然・文化・食の魅力をPRしました。



さらに、9月～12月（イベント月を除く）には、木曽地域内事業者等による物販を実施し、木曽路ならではの商品を継続的に提供。年間を通じて地域のPRと交流促進に大きく貢献しました。

【3月】

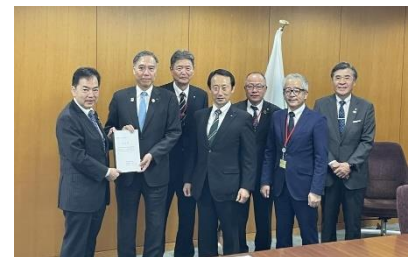
☆大桑村が交通事故事故ゼロ7000日を達成

大桑村では平成17年10月25日を最後に交通事故が発生しておらず、昨年12月24日で交通事故事故ゼロ7000日を達成しました。日頃からの交通事故防止の取組を称え、県交通安全運動推進本部長（知事）顕彰が授与されました。



☆御嶽山国定公園指定の申出書を環境大臣に提出

3月26日に、長野県・岐阜県の両県知事と地元市町村の首長らから県境にまたがる御嶽山の国定公園の指定を求めて、環境省に申し出を行いました。



☆木曽地域人口減少対策検討会が報告会を開催

木曽地域人口減少対策検討会が検討した「人口減少下における持続可能な地域づくりを進めていく上で必要な取組」について、検討会から木曽地域振興局へ報告及び提案を行いました。

☆地域の悲願 田立大橋が開通 【南木曽町】

木曽川右岸道路の一部を構成する中津川田立線の田立大橋を含む215m区間が供用開始となりました。渡り初めに「田立の花馬」が先導するなど、開通式が盛大に執り行われました。

引き続き、岐阜県の現地機関とも調整しながら、幅員が狭小な県境区間のバイパス整備を推進してまいります。



【4月】

☆副業人材活用セミナー

人口減少、働き手不足といった地域課題を、都市部高度人材が副業としてリモートワークで支援することに注目が集められていることから、自治体関係者、事業者を対象としたセミナーを4月18日に開催しました。講師に長野県プロフェッショナル人材拠点、(株)リクルート、阿寺ブルー(株)の方を招き活用方法、事例を紹介するなど参加者に聴講頂きました。

【6月】

☆企業説明会 i n 蘇南高校

将来の産業を担う地元高校生へ地元の事業者の活躍や地元で働くことの意義・価値等に関心を持ってもらうことで、木曽地域での就業を促進するため、6月12日に蘇南高等学校で高校生向け企業説明会を開催しました。



☆「木曽郡ふれあいスポーツ交流会」を開催

障がい者がスポーツを通じて体力の維持・増強を図り、社会活動への参加を促進するとともに、障がい者に対する認識と理解を深めることを目的として、6月7日に上松町社会体育館で初めて屋内開催しました。

当日は、障がい者54人、スタッフ・ボランティア74人、総勢128人が一堂に会し、6種類のパラスポーツ種目などを通じて交流を深めることができました。



【7月】

☆「木曽地域広域連携推進会議」を開催

新たな広域連携の具体化について検討するため、知事、6町村長が参加し、令和8年度から県が木曽広域連合へ参画していく方向性を決定しました。



☆県民と知事との意見交換「人口減少を乗り越える～「きそびと会議」と考える木曽の未来～」を実施

人口減少によって木曽地域が直面している様々な課題の解決に向けて、地域住民の知を結集するとともに住民意識を高めるため、市民団体「きそびと会議」の皆さまをお招きし、県民と知事との意見交換を実施しました。



☆K I S O起業塾を開催

地域の課題解決や活性化につながる起業を支援するため、木曽地域で起業を考えている方を対象とし、7月～9月の期間において全3回の起業塾を開催しました。

講師に長野県立大学教授の秋葉芳江先生を招き、充実した内容になりました。実際に参加した方の中にはすでに地域で活躍している方もおられ、今後のさらなる活躍が期待されます。



☆木曽地域リニア活用推進協議会観光・交流部会

令和7年3月に設立した「木曽地域リニア活用推進協議会」の部会の初会合として、7月8日木曽町役場大会議室において開催しました。木曽地域観光振興に取り組む4名のパネリストを招き、阿部知事とともにディスカッションの様子を、関係者、一般参加者約80名が聴講しました。



☆令和7年度木曽地区電気柵設置研修会を開催

野生鳥獣害被害防止策のひとつである電気柵の適正な設置方法を学び、農業者や指導者自らが現場で実践できる知識と技術の習得を図るための研修会を開催しました。

参加者はイノシシ用・クマ用の電気柵を設置し地形に合わせた設置のコツ等について学びました。



☆木曽地区酒米中間検討会を開催

木曽地区における酒米の生産振興を図ることを目的に、水稻生産者、酒造メーカー、町村農業委員会、木曽農業協同組合、行政等で検討会を開催しました。

酒米「山恵錦」等の栽培特性、醸造特性について学び、酒米実需者と生産者の意見交換、木曽産「山恵錦」を原料に醸造した酒の試飲を行い知見と連携を深めました。



☆長野県食と農業農村振興審議会 木曽地区部会を開催

「長野県食と農業農村振興の県民条例」に基づき、10名の審議員を任命し、木曽地域の農業の発展方向について検討を行いました。



☆土石流から命を守る 田代沢砂防堰堤が完成 【上松町】

田代沢は、土砂災害警戒区域内の人家49戸、うち、特別警戒区域内の5戸、また、地域の指定避難所の上松中学校などを保全するため、平成30年度から砂防堰堤の整備を進めてきました。

堰堤の完成により、特別警戒区域が解除され、土砂災害に対する安全度が向上しています。



【8月】

☆御嶽山安全対策に係る防災訓練及び音声到達範囲調査の実施

「火山防災の日」制定に合わせ、御嶽山火山防災協議会（長野県・岐阜県をはじめ 自治体等関係団体で構成）は、8月26日に山頂周辺の屋外スピーカー等による放送訓練及び音声到達範囲を把握するための調査を実施しました。



【9月】

☆「ABMORI in きそまち」キックオフイベントの開催

歌舞伎俳優の市川團十郎さんの呼びかけで始まった森林再生活動「ABMORI」。

2014年から志賀高原のスキー場跡地で行われていましたが、来年度から新たに木曽町三岳地区において引き継ぐことになり、9月21日に團十郎さんやご家族、阿部知事、関係者、地元小学生ら70名が参加して、来年度に向けたキックオフイベントとして交流を深めながらカラマツ苗の植樹やカラマツの種子播きが行われました。



☆相次ぐクマの出没

木曽郡内でクマの出没が相次ぎ、6月と9月には山林内で2件の人身被害が発生しましたが、幸い命には別条ありませんでした。

また、クマ等が人の日常生活圏内に出没し、人への危害を緊急に防止することが必要な場合で、銃器以外では対応困難な場合に、市街地や建物内でも銃猟を行うことができるよう、国の施策「緊急銃猟制度」が9月に創設されました。

今年の漢字『熊』が象徴するように、地域ではクマとの共生や安全確保が大きな課題となっています。

【10月】

☆木曽地域広域幹線バス「きそバス」が運行開始

地域公共交通の持続可能性の向上を目指し、木曽地域公共交通活性化協議会において「木曽地域公共交通計画」に基づく路線の再編などを進め、10月1日から新たな路線を運行開始しました。



☆木曽地域特定家畜伝染病 防疫演習を開催

大規模養豚場での伝染病発生の際に、関係機関が連携し速やかに初期活動ができるよう、木曽6町村および関係機関と連携した防疫演習を実施しました。

伝染病発生時の各班の動きを確認することで町村、家畜保健衛生所等の関係機関との連携と災害時の対策が強化できました。



☆6年ぶりに権兵衛街道のクリーンアップ開催

道路の維持管理及び愛護活動を通じて、地域振興に資することを目的に、投棄されたごみの回収などの沿道美化清掃を実施しました。同活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和元年以降休止していたため、6年ぶりの実施となりました。7団体、33名の皆様に参加いただき、気持ちよく秋の観光シーズンを迎えることができました。



☆木曽川右岸道路 川向～田立 ルート帯・対応方針を決定 【南木曽町】

木曽川右岸道路の中で、整備方針が定まっていない南木曽町川向地区から田立地区までの間について、令和4年度から南木曽町右岸道路づくり委員会と協働で計画検討を進めてきました。南木曽町民との意見交換を繰り返しながら、この度、ある程度の幅を持ったルート帯と今後の対応方針を決定しました。



【11月】

☆小学生を対象に小水力発電施設見学会を実施

地域資源を活かした自然エネルギーへの転換を推進するため、普及拡大を図ることを目的に、南木曽小学校の4年生を対象とし農業用水を活用した「南木曽町細野洞地区小水力発電施設見学会」を南木曽町の協力のもと実施しました。



☆「信州ねんりんピック 文化・芸術交流大会」を木曽で初めて開催

明るく活力ある長寿社会の実現を目指して、平成元年度から県内各地で開催している「信州ねんりんピック」の式典及び文化・芸術交流大会を、11月7日に初めて木曽で開催しました。

また、「長野県シニア作品展」と同時開催した「木曽地域シニア作品展」は、県内各地から延べ615名にお越しいただきました。



☆木曽広域連合、町村との協働による木曽地域の出産支援に関する取組

令和8年3月以降、木曽地域での分娩は遠方の医療機関で行うこととなるため、木曽郡6町村及び木曽広域連合と協働し、妊婦への支援策を検討しました。

11月10日には住民意見交換会を開催し、意見を踏まえ、交通費・宿泊費助成などの支援策を策定しました。

さらに11月25日には、分娩を行う医療機関近隣の宿泊施設確保に向け、ルートインジャパンと木曽郡6町村とが協定を締結し、最大14泊分の宿泊費助成や予約手配などを行う体制を整えました。



（問合せ先）

担 当：木曽地域振興局 総務管理・環境課 川口
電 話：0264-25-2211（直通）
0264-24-2211（代表）内線 2304
F A X：0264-23-2583
E-mail：kisocho-somu@pref.nagano.lg.jp

（問合せ先）

担 当：木曽保健福祉事務所 総務課 小林
電 話：0264-25-2231（直通）
0264-24-2211（代表）内線 2206
F A X：0264-24-2276
E-mail：kisocho-somu@pref.nagano.lg.jp

（問合せ先）

担 当：木曽建設事務所 総務課 今井
電 話：0264-25-2237（直通）
0264-24-2211（代表）内線 2504
F A X：0264-22-4028
E-mail：kisocho-somu@pref.nagano.lg.jp